

# 日本薬局方 ハッカ油

M e n t h a O i l

冷たい氷山や  
清々しい空気のような  
イメージです。

頭がスッキリとなり、  
気分をリフレッシュ  
します。



イラストはイメージです。

スーツとした  
清涼感と  
辛みのある  
香りです。



## ハッカ豆知識

ハッカの原産地は明らかではありませんが、中国からインド、エジプトを経てヨーロッパへ伝わり、アメリカ大陸にも伝わったとされています。日本へも中国から九州に渡り、江戸初期には山城や大和国で栽培されていましたが、この栽培は薬草としてのものでした。明治の中頃には北海道でも栽培されるようになり、大正、昭和を通じて大規模な栽培が岡山県や北海道で行われ、大量のハッカ油が蒸留されました。

日本で栽培されてきたハッカは和種と呼ばれていますが、現在の和種ハッカの主産地はブラジル、パラグアイと中国です。スッキリとした香りで古くから親しまれているハッカは、チューインガム、キャンディーといった菓子類などの食品や、歯磨き、タバコなどに広く使用されるほかに、薬局法にもあるように医薬として軟膏、ハップ剤、消化剤など広く使用されています。ちなみに、「薄荷」は「荷物が軽く(薄く)ても儲かる作物」という意味から当てられた字だそうです。

ハッカ *Mentha arvensis* Linné var. *piperascens* Malinvaud (*Labiatae*) の地上部を水蒸気蒸留して得た油を冷却し、固形分を除去した精油。

**成分名** ハッカ油  
**英名** Mentha Oil  
**ラテン名** OLEUM MENTHAE JAPONICAE  
**性状** 無色～微黄色透明の液で、特異で爽快な芳香があり、味は初め舌をやくようで、後に清涼となる。  
エタノール(95)、エタノール(99.5)、温エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。水にほとんど溶けない。

メントール含量	30.0%以上	比重 $d_{20}^{20}$	0.885~0.910
屈折率 $n_D^{20}$	1.455~1.467	酸価	1.0以下
旋光度 $[\alpha]_D^{20}$	-17.0~-36.0°(100mm)	重金属	40ppm以下

成分コード 001488 規格コード 01

主成分の1-メントールを多く含み、  
そのほかメントン、イソメントンなどを含む。